

第2回と第3回の成果を踏まえ、次回（第4回）は速野学区を活性化する取り組みを考えます

第2回 学区の特徴とたからもの

特徴

 ①人とひとのつながり
 伝統・文化

 ②歴史ある伝統・文化

 ③自然・住みやすい環境

 ④地域特有の生活・産業など

たからもの

- 人が集い活動する機会
 - ・一斉清掃、PTA、子育てを媒介とした交流環境保全隊、防災訓練など
- イベント・行事
 - ・自治会夏祭り、綱引き、ソフトボール、5月祭、運動会、演芸会、学区民の集い、文化祭など
- 祭事
 - ・左義長、たらい神輿、ずいき祭、菜まき盆神輿巡行、地藏盆、硫黄夜祭、漁港祭など
- 神社仏閣
 - ・樹下神社(水保、今浜、中野)、立像寺、玉林寺、己爾乃神社(開発、大曲)、福林寺、観音寺、稲荷神社、光照寺、観音寺、法門寺など
- 史跡
 - ・旧野洲川の欄干跡、法竜川の水運遺跡、今浜城趾、旧木浜港、お満灯笼など
- 水にまつわる生活遺産
 - ・旧野洲川伏流水、井戸、川端、用水路、出湯、竹管簡易水道、小浜の県モデル事業など
- 特色ある街並み
 - ・新興住宅地の整った街並み、近隣景観形成協定地区(花のあるまち)
- 景観・眺望
 - ・琵琶湖、湖越しの比良山系、漁港・マリナ、湖辺、浜ひるがお など
- 素の自然・自然を活かした施設
 - ・旧野洲川河川敷・堤防、桜並木(ライトアップ)、地球市民の森(出会いの森・里の森・ふるさとゾーン)、法竜川、大正堀、十合の池、今浜コスモス園、葎、木浜内湖、大川、なぎさ公園など
- 食文化
 - ・鮎寿司、川魚を使った学校給食、鯉、小魚のあめだき、正月のぜんざい など
- 地域に根ざした産業・産品
 - ・漁業・鮎、モリヤマメロン、日野菜、米、いちご、無花果、菊、バラ など
- 集客施設
 - ・おうみんち、佐川美術館、ヤママリナ、キャンプ場、サッカー場、ゴルフ場、ラフォーレ、ピエリなど
- 速野の繁栄の礎となった基盤
 - ・琵琶湖大橋、湖周道路、取付道路、県内でも重要な交通結節点

第4回 速野学区活性化の取組

「たからもの」と「まちづくりの方向」を関連づけて、どんなことができるか、何をしたら学区が元気になるか、考えてみてください！
これは例です、参考にどうぞ。

【活用するたからもの】
神社仏閣、旧木浜港、佐川美術館、湖岸の眺望 など

【活性化の取組み】
旧集落の史跡や歴史的資源と、湖岸地域の近代的施設の、双方の魅力を活用する
・地元の人も来訪者も気軽に散策できる安全な回遊ルートの整備
・地域の歴史を学ぶ場の創生 など

【活用するたからもの】
食文化、地域に根ざした産業・産品、琵琶湖大橋 など

【活性化の取組み】
地域の農漁業を地域内外にPRする
・人が集まる琵琶湖大橋付近の遊休地、遊休施設を活用
・農漁業や自然を学ぶ場の創生 など

第3回会議ではすでにこんなアイデアが出ています。これらをもっと具体的にすることも考えましょう！

＜第3回会議で出して頂いた取組み＞

- ・まちづくり活性化に取り組む実行部隊づくり
- ・世代間交流の場所や機会づくり
- ・子育て世代を支援する環境づくり
- ・民間施設を活用した避難所
- ・公共交通でおでかけできる環境づくり
- ・農漁業の後継者発掘・育成の場づくり
- ・琵琶湖大橋付近に「おうみんち」の琵琶湖版施設
- ・里中河川の流水化
- ・上流からの水流の復活
- ・浜ひるがお群生地の開花増進
- ・小学生への地域の歴史教育

第3回 学区の課題とまちづくりの方向

まちづくりの方向

- 世代間交流を促し、速野ならではの多様性という特徴を活かしたまちづくり
- 子どもからお年寄りまで安心・安全に暮らせるまちづくり
- 琵琶湖などの水辺の環境を活かした癒しと潤いのあるまちづくり
- 地域の伝統産業を大切にすまちづくり

課題

- 増えている人口
～新旧の自治会で格差が拡大～
・市街化区域は人口増、子どもも増
・昼間は高齢者ばかりで防犯上不安
・転入者の顔が見えない
・市街化調整区域は少子高齢化
・農業後継者が不足
・伝統行事の継承者・継承の場がない
・世代間交流が不足
・共同体としての意識が希薄 など
- 学区・自治会運営上の諸問題
～規模の大きさ、新旧混在等に起因～
・自治会と学区の活動で自治会長が多忙
・学区の役員にとって役割が負担
・順送りが無い、新たなリーダーが育たない
・役員に若い人や女性の参画が必要
・過剰な個人情報保護によるコミュニケーション
- 防災・防犯・安全の確保
～末永く安心して暮らしたい～
・学区レベルでの防災訓練や避難場所が必要
・バスの便が少なく高齢者の通院に困る
・車がないと生活できない
・生活道路を抜け道利用する車が多い
・人口増に追いつかない道路整備
・通学距離が長く交通安全上問題 など
- 自然・景観・水環境の保全
～恵まれているのに活かしていない～
・旧野洲川・地球市民の森が雑草だらけ
・公園の使い勝手が悪い
・不法投棄の増加
・琵琶湖、木浜内湖、大川、大正堀などの水辺の環境を活かしきれてない
・大川の水循環がよくない
・なぎさ公園の砂浜保全が必要 など
- 都市構造・公共施設
～13,000人の学区に相応しい施設を～
・速野会館が狭い、駐車場も少ない
・文化・教育施設が貧弱
・通過する人の足を止める場、集める場がない
・観光施設が活かされていない など
- 地域への愛着
～愛郷心・誇りを醸成するものがない～
・学区全体レベルでの祭事が少ない
・市民としての郷土愛を抱かせるものがない
・守山市の知名度が低い

(注) 第2、3回のワークショップ会議で記入されたものから抜粋